事 業 報 告

令和６年度　公益財団法人黒部市吉田科学館　事業報告（総括）

公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会は、市民の科学知識の普及及び文化の向上に資することを目的として、自然・科学を楽しみながら学ぶ事業を実施しています。

令和６年度は、新型コロナウイルス感染症もある程度の流行はみられるもの、世の中も落ち着きを取り戻し、ほぼ以前のような日常が戻ってきたところです。その結果、感染拡大以前の利用者数には残念ながら及びませんでしたが、個別の事業について見てみると、参加人数が増えたものもあれば減ったものもあり、全体としては回復傾向にあるのではないかと考えています。今後は、利用者の増ばかりにとらわれることなく、科学館としての質の向上に努めてまいります。

また令和６年３月末で学芸員が１名退職しましたが、令和６年度に職員採用に至らなかったため、１名減の状態となりました。そのため残った職員でその分をカバーすることとなり、過密な業務となりました。

令和６年度の主な事業として、11 月から２月に特別展「さわる宇宙展」を開催しました。これは、視覚障害関係の団体や専門家と協力し、目の不自由な方でも触って楽しめる展示を目指し実施しました。３Ｄプリンターで作成した惑星やブラックホールなどの展示や、天文学の観測機器、プラネタリウム操作盤など実物資料の展示を行いました。その展示には、点字による説明も付けました。このような展示は、あまりないことから目の不自由な方々には好評で、県内外の来館があり、「はじめてプラネタリウムの部品にさわった」「惑星の距離感がわかった」などの声を聞くことができました。また、晴眼者にとっても好評で、わかりやすかったというアンケート結果が得られています。令和７年度は、これをさらにブラッシュアップして展示を行う予定としています。

企画展としては、ジオパーク巡回展「地球時間の旅」を実施しました。黒部宇奈月キャニオンルートの解放（実際は延期となった。）に合わせ、立山黒部ジオパークの概要と、その日本国内での位置づけがわかる展示を行いました。また、この巡回展は、全国のジオパークや博物館施設で協力して制作を行っており、大地成り立ちの項目において黒部川花崗岩の展示を当館より提案し、採用されました。

プラネタリウムでは、シリーズ第３弾「ウォー太郎と水めぐりの旅～大地は生きている！の巻～」を制作しました。ウォー太郎が、黒部峡谷を舞台に、黒部川の豊かな水環境と黒部の大地の成り立ちを案内する内容となっています。

令和６年度実績として、全ての事業を合わせた延べ利用者数は 46,234 名（前年度比 93.9%）、来館者数は 22,347 名（前年度比 97.7%）となっております。事業毎の延べ利用者数は増減ありますが、来館者数は概ね横ばいとなっています。今後も引き続き観光や他館との連携、創意工夫により来館者に満足していただける科学館を目指してまいります。

令和６年度（2024 年度）黒部市吉田科学館事業報告

１. 黒部市吉田科学館の基本方針

（１）　楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する

（２）　自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する

（３）　誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民※と共につくる

（４）　幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する

（５）　科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

２. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3 テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める

３.令和６年度（2024 年度）の主な事業内容

- **企画展及び特別展**

ジオパーク巡回展「地球時間の旅」
（7 月 20 日～9 月 1 日）
特別展「さわる宇宙展」
（11 月 17 日～翌年 2 月 17 日）

- **オリジナルプラネタリウム番組**

リニューアル再投映「彗星の旅」
（10 月 1 日～12 月 28 日）
新作「ウォー太郎と水めぐりの旅 ～大地は生きている！の巻～」
（1 月 5 日～7 月 13 日予定）

- **プラネタリウム 100 周年記念事業**

プラネタリウム 100 周年に関連したプラネタリウム番組の投映、クイズラリー、星空プログラミングを開催。

（1）日常の科学

① 講座体験事業

・　**サイエンスショー（常時開催）**

「電気のふしぎ」実演風景

来館者を対象に当館エントランスホールにて、日常生活に関わりの深いテーマを楽しく解説する実験ショーを開催した（平日１回、土日祝日２回、毎回 15～20 分程度）。

今年度は「力と運動のふしぎ」（4 月）、「電気のふしぎ」（5～8 月）、「光と音のふしぎ」（9～12 月）、「ものの運動のふしぎ」（1～3 月）の計４つのテーマをもとにサイエンスショーを展開した。実演終了後、詳しく実験内容を聞きに来る参加者の姿がしばし見受けられた。

・　**団体用工作教室**

「プラカップごま」と「惑星キーホルダー」

保育園、小学校等の遠足、校外学習のプログラムの一つとして、工作教室を実施した。

今年度は、所要時間 20 分～1 時間で 8 種類の工作から選んでもらい、「かさ袋ロケット」１団体、「プラカップごま」２団体、「惑星キーホルダー」５団体の計８団体で実施した。

対象年齢を考慮した工作の選択肢を用意したことで、子どもたちから完成の達成感を感じられ、喜びの声が聞かれた。

・　**プログラミング事業**

プログラミングワークショップの様子

CoderDojo 黒部と提携し、月に 2 回程度「CoderDojo 黒部プログラミングワークショップ」を実施したほか、夏季には 3 回プログラミング体験教室を実施した。CoderDojo 黒部の常連の参加者は、毎回プログラムを発展させ、複雑なプログラムを書けるようになっているほか、初参加の参加者においても楽しんでプログラムを組む様子が見られた。今年度には、参加者の一人が世界大会（WRO 2024）に出場した。世界大会の出発前には、当館で壮行式を行った。

そのほか、富山県内で活動するドローン団体を講師としたドローン教室を開催し、コントローラーでドローンを操作する体験会を行った。さらに、プラネタリウム番組制作ソフトを用いた教室も開催した（宇宙の科学の項で詳述）。

② 展示事業

・　児童生徒作品展示会の実施

市内小中学校の児童・生徒が、夏休みに制作した発明くふう作品、自由研究作品の展示会を 9 月から 10 月にかけて開催した。暮らしを便利にするための工夫をこらした作品や、長年の研究の成果をまとめた研究作品などが展示された。

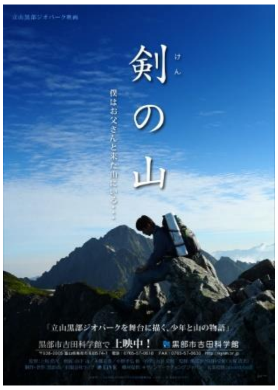
写真左：第 19 回少年少女発明くふう展（出品数 125 点）

写真右：第 19 回黒部市小・中学校児童生徒科学作品展覧会（出品数　52 点）

（2）地域の科学

① プラネタリウムドーム事業

・　**立山黒部ジオパーク映画「剣の山」**



プラネタリウムでは、立山黒部ジオパーク映画「剣の山」を上映している。また、市内全小学校の 6 年生に対し、地元の自然について学ぶ機会を設けるため、学習投映を実施した。上映前にはジオパークについて職員が解説した。児童の学習効果を調査するために、視聴前に回答する事前アンケートと、視聴後 1 か月後に回答する事後アンケートを実施した。今年度においても、多くの児童の回答において、視聴後 1 か月後の時点で、大地の変化や、湧き水のしくみに対する理解度が視聴前より深まっている傾向が見られた。

剣の山学習投映　8 回　児童 298 名　大人 18 名

② 講座・体験事業

・　**ジオ&みずはくツアーの実施**

写真：ジオ&みずはくツアー
「扇状地の歴史を見に行こう」（9 月 8 日実施）

黒部川扇状地を巡る「ジオ&みずはくツアー」を実施した。本ツアーでは、地域学芸員（市民ガイド）と共に、黒部川扇状地の名所を巡り、参加者に扇状地での水のはたらきや、大地の成り立ち、歴史について体験してもらった。令和 6 年度は、季節やテーマに合わせて全 5 回実施した。自然や文化に関心を持つ参加者が多く、熱心に質問する様子が見られた。

・　**ジオパーク体験講座・フィールドウォッチング**

写真：ジオパーク体験講座
「黒部の雪を楽しもう」（2 月 2 日実施）

立山黒部ジオパークの普及事業の一環として、「ジオパーク体験講座」を実施した。生き物、石、雪など、各回で異なるテーマを設定した。自然の観察や遊びを通して参加者に立山黒部ジオパークの自然を体験させた。特に、「黒部の雪を楽しもう」は、参加者数も満員となり、大人数でイグルー体験を行うことができ、好評であった。雪に棲む微生物の観察やクイズも行い、生態系との関連を学ぶ機会ともなった。

③ 調査研究事業

・　低緯度オーロラ観測

5 月 11-12 日、8 月 12-13 日、10 月 10-11 日、の 3 回にわたって、富山県内から低緯度オーロラを撮影した。撮影した写真は、北日本新聞と富山新聞、KNB などのメディアで取り上げられた。5 月 13 日の撮影データは、国立極地研究所の片岡氏に提供し、市民科学データを利用した研究に用いられた。また、10 月 11 日は、磁力線が動く様子も鮮明に撮影できた。

※低緯度オーロラ：強い磁気嵐で低緯度地域でもオーロラ観測される現象。日本の緯度では、北の低空がうっすらと赤く光るように観測される。

・　“富山湾に沈む夕日”の観測

黒部で見られる夕日は能登半島の陸地へ沈むことが多いが、冬至の期間のみ宝達丘陵と医王山の間に見える谷間に夕日が沈んでいくことを利用し、”富山湾に沈む夕日”を撮影した。地球の丸さで標高の低い場所は水平線に隠されるためであり、富山湾の丸さを知る機会となる。

10 月 11 日に宮崎海岸で撮影されたオーロラ

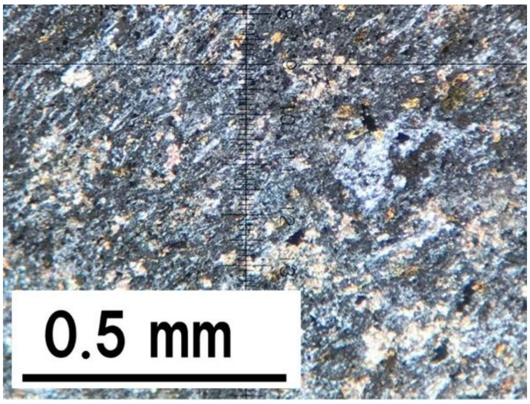
令和 7 年 1 月 5 日に石田浜で撮影された夕日

・　親不知火山岩類（愛本の火山岩）の薄片作成

令和 7 年度の秋の企画展に向け、岩石切断機を自作するなど、岩石薄片作成のための環境を構築した。黒部川扇状地の扇頂部の親不知火山岩類について、当館で収蔵していた試料の薄片を作成した。

※岩石薄片：岩石をスライドグラスに貼り付け、0.03 mm ほどに薄くスライスしたもの。

自作した岩石切断機



愛本の火山岩の薄片写真

・　学会発表

JpGU Meeting（千葉県）、JPA 北陸プラネタリウム WG（富山県）、天文教育研究会（福井県）、日本ジオパーク全国大会（青森県）に参加し、発表を行った。

（3）宇宙の科学

① プラネタリウムドーム事業

・　オリジナル番組の制作・投映

新作「ウォー太郎と水めぐりの旅
　　　～大地は生きている！の巻～」

投映期間：令和７年１月５日～7 月 13 日予定

内容：黒部の名水キャラクター「ウォー太郎」が、黒部川扇状地の豊かな水環境を案内する３部作シリーズの最終話。今回は「大地」をテーマに、黒部峡谷を舞台として、温泉やパンダ石、峡谷の成立ちを解説した。当初予定していた祖母谷での撮影が能登半島地震の影響で困難になったため、猫又や黒部ダムでの撮影で対応した。

シリーズ１作目（わき水編）と２作目（扇状地編）も３月末まで再投映し、スタンプラリーを開催してオリジナル缶バッジや絵本「ウォー太郎・黒部川の旅※」をプレゼントした。観覧者の感想には、「３作品とも何度も見たい」「知らなかったことばかりで勉強になった」等の声があり、広く市内外の方に黒部の自然（水環境）の魅力を発信することができた。

※絵本は黒部川・水のコンサート＆フェスティバル実行委員会から提供していただいた。

スタンプラリーの参加用紙

・　リニューアル再投映「彗星の旅」

投映期間：令和６年 10 月 1 日～12 月 28 日

内容：令和６年秋に大彗星となり話題となった紫金山・アトラス彗星に合わせ、オリジナル番組「彗星の旅」（平成 25 年制作）をデジタルリメイクして再投映した。

・　サブスクリプションの投映番組

幼児や小学生を対象にした子ども向け番組、一般向けの科学番組など幅広い年齢層に合わせた番組を年間６本投映した。

「プラネタリウム　ドラえもん　～宇宙の模型～」（小学生向け）

期間：令和６年７月 14 日～令和７年３月 30 日

内容：ドラえもんの秘密道具を使って、のび太たちが宇宙を探検する番組。番組内ではプラネタリウムの歴史にも触れている。キャラクターの人気が高く、ピーク時には入場待ちの列ができるほど多くの方に見ていただいた。

「宇宙の模型 ～プラネタリウム誕生物語～」（一般向け）

期間：令和６年４月２日～6月30日

内容：プラネタリウム 100 周年を記念して制作された番組。古代ギリシャの天球儀から始まり、現在の光学式プラネタリウムが完成するまでの歴史を丁寧に描いている。

「かぐや姫は未来の月からやって来た」（一般向け）

期間：令和６年７月２日～9月29日

内容：実写ストーリーの合間に、JAXA 川口名誉教授が月面基地や宇宙開発について解説する。アルテミス計画で再び注目されている月がテーマの番組。

「10000 光年双眼鏡」（一般向け）

期間：令和６年10月１日～12月28日

内容： 2020年に Twitter で公開され、SNS で話題となった Web 漫画をドーム映像化した SF ストーリー。

「ゆうすげ村の小さな旅館」（小学生向け）

期間：令和６年７月２日～9月29日

内容：国語の教科書にも掲載され、学校や図書館で人気の児童文学を原作とした心温まる番組。

「おおきなぞうとあっちゃんの星」（幼児向け）

期間：令和６年４月２日～6月30日

内容：流れ星をテーマにした動く絵本のような番組。監督の坂井氏は国立科学博物館の展示映像も制作しているアニメーション作家。

・　**その他の投映番組**

「剣の山」（立山黒部ジオパーク映画・通年投映）

「今夜の星空と３Ｄ宇宙体験」（職員生解説番組・通年投映）

・　**学習投映**

小・中学校の理科教育の一環として、小学４年・中学３年を対象に学習指導要領に基づいた内容の番組を職員の生解説で投映した。小学４年の投映では、事前研修会を開き各校の先生方の要望を取り入れ、また中学３年の投映では、黒部市中学校理科部会の研修会にて投映内容を検討していただき、内容の充実に努めた。

アンケートでは「実際の空に近い形で太陽や月の動きを観察できて理解が深まった」「平面では理解しにくい内容を立体的に宇宙から俯瞰できた」等の意見があり、天体の学習においてプラネタリウムを効果的に利用していただいていることが分かった。

・　プラネタリウムドームの多目的利用

「宮沢賢治が見た星空」「熟睡プラ寝たリウム」「星兄のプラネタリウムショー」等の投映を行った。

「七夕ナイトミュージアム」では講演会と生演奏コンサートのコラボレーションだけでなく、回廊では天の川と七夕の星の展示を行い、屋外では星空観察会もあわせて開催し、ドーム内は満席の状態となった。

回廊の天の川イルミネーション

② 講座・体験事業

・　星空観察会の実施

月１回の星空観察会のほか、天体望遠鏡の操作を学ぶ教室を実施した。また、黒部天文同好会の協力のもと、太陽、彗星、火星食など話題の天文現象の観察会を行った。観察会当日に天文同好会員によって撮影された火星食の写真は県内の新聞にも掲載された。

③ 調査研究事業

・　全天周映像を用いたオリジナル番組制作

ウォー太郎シリーズのプラネタリウム番組の撮影では、黒部峡谷で撮影を行った。関西電力、黒部峡谷鉄道、立山黒部ジオパーク協会等の協力のもと、黒薙温泉の噴泉や猫又工事区域のパンダ石、黒部ダム周辺での撮影を行った。また、今後制作する番組で活用するため、剱岳や室堂、自然の風景等の撮影を行い映像素材としてストックした。

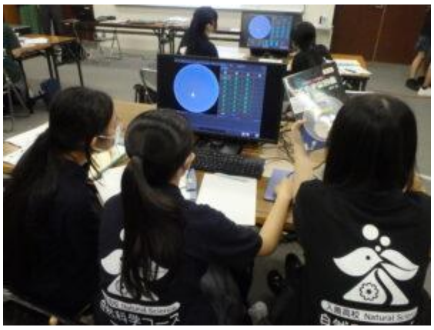
黒薙温泉（噴泉）での撮影

黒部ダムでの撮影

360 度カメラの撮影映像

・　プラネタリウム番組制作ソフトの活用

小学生（2 日コース）と高校生（１日コース）を対象に、プラネタリウム番組制作と発表会を行った。小学生の教室では親子で協力して制作する姿も見られた。プログラミングの技術だけでなく、シナリオの制作方法や投映の仕方についても時間を取って説明し、全員が自分の作った番組を発表することができた。今後はさらに高度な番組作りや、360 度カメラで撮影した映像の活用、一般観客にも見てもらえる作品コンテスト等も考えていきたい。


プラネタリウム番組制作の様子

（4）特別事業

① ジオパーク巡回展「地球時間の旅」（7 月 20 日～9 月 1 日）

主催：黒部市吉田科学館・立山黒部ジオパーク協会

共催：糸魚川ジオパーク協議会・フォッサマグナミュージアム　日本ジオパークネットワーク

本巡回展は、2023 年度から糸魚川ジオパーク協議会により、全国のジオパークや博物館施設に呼びかけて企画された。当館も、プロジェクトメンバーの一員として、複数回の研修会に職員を派遣し制作に携わった。研修会では、共通のテーマを基に全国のジオパークをつなぎ、相互に誘客を促す方法などが議論された。

全国を巡回する基本的な展示物に加えて、当館では、オリジナル要素として、「パンダ石」「石ころ神経衰弱」と、「地形パズル」を設けた。土日祝日には、地域学芸員による解説を行った。

アンケート結果からは、概ね好評の意見が多かったように見受けられた。特に満足度の高かった展示物としては、当館で用意したオリジナルの展示物であり、体験型展示が有効であったことが示された。自由記述蘭からは、「ジオパーク巡りをしてみたい」、「ほかのおもしろい石を知りたい」などの、次のアクションにつながる回答があったため、期待通りの効果があったことがわかった。

展示の様子

② 特別展「さわる宇宙展」（11 月 17 日～2 月 17 日）

協力：富山県視覚障害者福祉センター、南谷 和範 氏（大学入試センター）、嶺重 慎 氏（京都大学名誉教授）、渡辺 哲也 氏（新潟大学）、あかり@あすとろ-えふ（3D クリエイター）

特別展では、「さわる」をコンセプトとし、宇宙に関連する試資料 55 点を展示した。展示は、全てハンズオン型の展示とし、自由に手に取って観察や体験をできるものとした。

目の不自由な方も体験できるようにするため、キャプションに点字を振ったほか、解説書も点字と墨字（UD デジタル教科書体）を用意し、壁にかけて手に取って読めるよう展示した。特に、事前予約制で職員による解説を行ったところ、目の不自由な来館者から多くの予約があった。

展示の様子

展示物は、3D プリンターで製作した天体模型や宇宙機のほか、実物としてプラネタリウム操作盤やいん石、体験型展示として各惑星の重力体験装置や各惑星の太陽からの距離を示すロープを設けた。特に体験型の展示は好評であった。

把握できている限り、目の不自由な方の全来館者数は、計 33 名、となった。アンケート結果からは、事前予約を利用した方からは、障害の有無に関わらず好評であった。一方で、事前予約をせずに来た目の不自由な方にも楽しんでもらう方法が今後の課題であると感じた。

特別展の連携イベントとしては、講演会「さわって知るブラックホール」と、ワークショップ「惑星地形にさわろう」を開催した。両イベント共に、参加者全員に模型を配布する形で実施した。参加者は小学生から大人までの幅広い年齢層であったが、アンケート結果より、触れる模型があることでわかりやすかったことがわかった。

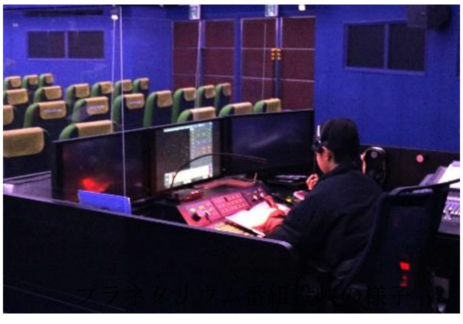
講演会の様子

③ プラネタリウム 100 周年記念事業

プラネタリウム誕生から 100 年を記念してプラネタリウムに関連したイベントを開催し、プラネタリウムの魅力発信、プラネタリウムファンの増加に努めた。

- **プラネタリウム一般番組の投映**

プラネタリウムの仕組みや歴史をテーマとする一般番組「宇宙の模型 ～プラネタリウム誕生物語～」や、「プラネタリウム ドラえもん ～宇宙の模型～」等、プラネタリウムについて興味関心を高める番組を投映した。



プラネタリウム番組投映の様子

- **プラネタリウム 100 周年記念クイズラリー**

プラネタリウムに関するクイズを館内に設置し、全問正解者には 100 周年ロゴをデザインしたオリジナル缶バッジ等を進呈した。クイズをきっかけに多くの来館者に 100 周年について知っていただいた。

※2025 年 5 月末まで開催予定。

100 周年記念クイズラリーのパネル

- **星空プログラミング in 黒部**

小学 4～6 年を対象に、プラネタリウム番組制作と発表会を行う教室を開催した。

④ 科学館ウィーク☆２０２４

（11 月 16 日～24 日実施）

科学館の３つのコンセプトをテーマにイベントを開催した。期間中は、オリジナルプラネタリウムの特別投映や、ワークショップ、スタンプラリー、じゃんけん大会などを実施した。外部団体と連携しながら数多くのイベントを開催し、多くの来館者が訪れた。今後も外部団体との連携を重視しながら開催したい。

外部団体による工作の様子

⑤ 連携事業

・　他施設・他団体との連携事業

黒部市美術館の「黒井健絵本原画展」に合わせて、同美術館、黒部市立あおーよ図書館と連携し、3 館連系事業を行った。黒井健氏が宮沢賢治原作の作品を多く手掛けていたこともあり、当館では、プラネタリウム特別投映「宮沢賢治が見た星空」を実施したほか、ミニ展示として「銀河鉄道の夜」に登場した鉱物の展示を行った。また、期間中は美術館の展覧会の半券掲示でプラネタリウム料金の割引キャンペーンを実施した。特別投映のアンケートからは作品の理解が深まったとの回答があり、文学作品とのコラボの意義が示された。

魚津埋没林博物館と黒部市美術館と連携し、「E バイクでしんきろう！」を開催した。E バイクで魚津埋没林博物館から当館まで往復し、途中で蜃気楼と「地球の丸さ」の観察、岩石・植物・湧水の観察を行った。前年度の同イベントと比べて余裕のある行程であり、参加者とコミュニケーションを多く取ることもできた。アンケート結果からは、自転車に乗るのが好きな人に対してアプローチできたことがわかった。

地質巡検としては、日本黒部学会と連携し、2 泊 3 日の山の巡検「剱岳」や平野巡検「弁見野段丘崖　見学」を開催した。見学地の都合上、黒部学会やジオパーク協会関係者のみの参加となったが、現地で議論を行い、見識を深めるきっかけとなった。

ミニ展示の様子

特別投映のポスター

E バイクでしんきろう！の様子

⑥ 課外授業の受け入れ

県内高等学校のフィールドワークの一環として、湧水コースとプラネタリウムコースの研修を実施した。湧水コースでは、黒部川扇状地の各地を回りながら水質調査等を行った。プラネタリウムコースでは、グループごとにテーマを決めて番組制作と成果発表を行ない、後半は天体望遠鏡の操作を実習した。普段の授業では得られない体験に、生徒らは興味を持って取り組んでいた。

湧水巡りコースの様子

⑦ インターネットを使った動画配信

・　「七夕講演会」のライブ配信

7月の「七夕ナイトミュージアム」で行われた七夕講演会とシンセサイザーの生演奏コンサートをライブ配信した。ステージだけでなく、プラネタリウムドームの映像も高感度広角カメラで撮影し、会場で見ているかのような映像を配信した。（視聴回数：135回）

「七夕講演会」のライブ配信画面

・　オーロラ映像の配信

2024年10月11日未明に県内で観測されたオーロラを当館職員が撮影し、タイムラプス動画に編集して配信した。（視聴回数：150回）

⑧ 事務局運営

・　職員研修

2 月末に当館において研修を行った。職員全員で常設展や特別展についての理解を深めたほか、目の不自由な方に対する案内の方法を共有した。今後は、ユニバーサルマナーの接遇研修などを予定している。また、北陸プラネタリウムワーキンググループが当館で開催されたため、職員に参加を促し、北陸各地のプラネタリウム館の職員とも交流を深めた。

研修の様子

令和6年度　研修派遣等報告

▼学会・研究発表

月日	内容	担当職員	主催
5/26-5/31	JpGU Meeting 2024（千葉）		日本地球惑星科学連合
	・立山黒部ジオパークを題材とした映像教材の有効性：理解度と興味の度合いに着目した分析	野寺	
	・地球の丸さを感じよう『Eバイクでしんきろう！』3館連携、アート ×自然 ×科学 ×スポーツ	國香・野寺	
8/19-8/21	第38回天文教育研究会（福井）		日本天文教育普及研究会
	・「富山湾に沈む夕日」と地表の曲率	國香・野寺	
	・科学館・美術館・図書館での連携事業の実施～宮沢賢治を軸とした企画の事例～	野寺・國香	
	・3Dプリンターで製作された天体模型の視覚障害教育利用	野寺	
8/25	第14回日本ジオパーク全国大会下北大会（青森）	野寺	日本ジオパークネットワーク・下北ジオパーク推進協議会
	・岩石標本作成ワークショップの開発：GISソフトで簡略化させた地質図を用いた事例		
	・「ジオパーク巡回展 地球時間の旅」事例紹介		
11/19	JPA北陸プラネタリウムWG令和6年度第1回研修会（富山）	野寺	日本プラネタリウム協議会
	・事例発表「立山黒部ジオパークを題材とした全天周映像の有効性」		
12/18	JPA全国研修会 オプショナルツアー（黒部）	村井・野寺	日本プラネタリウム協議会
	・ウェルカム投映・特別展案内		
2/25	JPA北陸プラネタリウムWG 令和6年度第2回研修会（黒部）		日本プラネタリウム協議会
	・事例発表「ご当地キャラを活用したオリジナル番組制作」	村井	
	・話題提供「プラネタリウム館のUD対応について」	野寺	

▼講師派遣

月日	内容	担当職員	主催
6/6	プラネタリウム学習投映研修会　講師	村井	黒部市中学校理科部会
8/6	「名水の里　くろべこども自然体験村」地域観光ギャラリー解説　講師	野寺	くろべ都市農村交流実行委員会
8/8	「名水の里　くろべこども自然体験村」星空解説　講師	村井・野寺	くろべ都市農村交流実行委員会
8/21	高等学校フィールドワーク　（プラネタリウム番組制作コース）　講師	村井	富山県立入善高等学校
8/23	高等学校フィールドワーク　（湧水コース）　講師	長谷川	富山県立入善高等学校
9/14	富山県ナチュラリスト協会 研修会　講師	村井	富山県ナチュラリスト協会
10/9	富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」コース講師	野寺	富山市市民学習センター
10/31	「地下水の守り人」養成講座　講師	長谷川	とやま環境財団
11/3	魚津市立道下小学校 PTA行事（秋の星空について解説）講師	野寺	魚津市立道下小学校
11/14	「総合的な学習の時間」への協力（清水巡り）	長谷川	黒部市立村椿小学校
11/30	「ふれよう！新川 ー魅力体験ー」　講師	村井	県民カレッジ新川地区センター
12/20	名水の里「黒部」の恵みと幻の瀧を味わう会 講師	野寺	日本橋とやま館

▼他施設・外部団体への事業協力

月日	内容	担当職員	主催
−	部会長会議各回出席	國香・野寺	立山黒部ジオパーク協会
4/24	魚津市松倉 の金山調査協力	野寺	魚津埋没林博物館
7/1-11/5	企画展「キンキラリ魚津の金山展」への試料貸与	國香・野寺	魚津埋没林博物館
8/19-8/21	第38回天文教育研究会in福井　実行委員	野寺	日本天文教育普及研究会
11/23-11/25	ジオパーク再認定審査対応	國香・野寺	立山黒部ジオパーク協会
12/16-12/18	全国プラネタリウム研修会2024・富山 （運営に協力）	村井	日本プラネタリウム協議会

▼連携事業（イベント等）

月日	内容	連携団体
4/27-6/23	黒部市美術館「黒井健絵本原画展」に合わせたミニ展示・プラネタリウム割引	黒部市美術館・黒部市立あおーよ図書館
5/19・6/2	プラネタリウム特別投映「宮沢賢治が見た星空」	黒部市美術館・黒部市立あおーよ図書館
7/20-9/1	黒部市6館スタンプラリー	黒部市博物館等施設連絡協議会
9/23-9/25	山の巡検「剱岳」	日本黒部学会
10/14	Eバイクでしんきろう！	魚津埋没林博物館・黒部市美術館
10/26	特別講演会「とある学芸員の南極取材録」	日本黒部学会
3/24	平野巡検「中ノ口緑地公園段丘崖 見学会」	日本黒部学会

▼教職員・学生研修受入

期間	研修名	人数
8/3-8/4	令和6年度中堅教諭等資質向上研修における社会体験研修	1名受入
10/1-10/3	社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業	2名受入

令和6年度　黒部市吉田科学館　実績報告

日常の科学対象事業

※自/共…自主事業、共済事業の略

事業名		期間	自/共	内容	令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		前年比
講座体験学習事業	工作教室	通年	自	工作教室（学校行事等の利用）	19回	395人	20回	397人	11回	283人	71.3%
		3/20	自	折り紙ヒコーキ工作教室＆競技会			1回	57人	1回	57人	100.0%
		通年	共	黒部少年少女発明クラブ	18回	197人	19回	190人	18回	186人	97.9%
	サイエンスショー	通年	自	力と運動のふしぎ／電気のふしぎ／光と音のふしぎ／もののふしぎ	259回	3,550人	269回	4,139人	276回	3,991人	96.4%
	プログラミング	通年	自	プログラミング教室			5回	43人	1回	2人	4.7%
		7/28･8/4･8/17	自	プログラミング体験教室	7回	62人			3回	25人	—
		9/7	自	ドローンをとばしてみよう					1回	28人	—
		3/29･30	自	星空プログラミングin黒部			2回	10人	2回	26人	260.0%
		通年	共	CoderDojo黒部			24回	386人	23回	346人	89.6%
展示事業	展示	6/22～30	共	魚津地区･理科自由研究･発明くふう参考展	1回	634人	1回	868人	1回	545人	62.8%
		9/13～9/23	共	黒部市少年少女発明くふう展	1回	990人	1回	882人	1回	1,160人	131.5%
		9/27～10/8	共	黒部市小･中学校児童生徒科学作品展覧会	1回	928人	1回	744人	1回	862人	115.9%
令和4年度／令和5年度				あこや～のDE体験の風をおこそう！（あこや～の主催）	1回	632人	2回	271人			
				のべ利用者数合計		**7,388**人		**7,987**人		**7,511**人	94.0%

地域の科学対象事業

事業名		期間	自/共	内容	令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		前年比
講座体験学習事業	ジオパーク関連事業	6/16	自	ジオパーク体験講座「黒部の地形観察」					1回	5人	—
		7/28･12/17	自	ジオパーク体験講座「石ころ鑑定にチャレンジ」			3回	54人	1回	30人	55.6%
		8/4･8/10	自	ジオパーク体験講座「生地の魚を観察しよう」	2回	34人	2回	39人	2回	47人	120.5%
		10/6	自	ジオパーク体験講座「生地海岸で石ころを観察しよう」					1回	8人	—
		2/2	自	ジオパーク体験講座「黒部の雪を楽しもう」	1回	18人	1回	7人	1回	14人	200.0%
		11/17	自	フィールドウォッチング「吉田川で野鳥を観察しよう」	1回	8人	2回	9人	1回	7人	77.8%
		通年	自	ジオ＆みずはくツアー2024	5回	84人	5回	77人	5回	88人	114.3%
		通年	自	岩石･鉱物標本公開	3回	15人	3回	15人	6回	20人	133.3%
		9/28	自	黒部川調査隊	2回	13人	1回	4人	1回	9人	225.0%
		6月～8月	共	くろべ水の少年団	5回	80人	6回	133人	6回	111人	83.5%
展示事業	展示	10/19～11/10	共	環境写真展「すばらしい自然を…」	1回	2,825人	1回	1,960人	1回	1,046人	53.4%
		3/1～30	共	巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	1回	1,283人	1回	1,633人	1回	1,626人	99.6%
令和4年度／令和5年度				ジオパーク体験講座「昆虫標本を観察しよう」	2回	30人	2回	19人			
				自然写真愛好会･美写者写真展「すばらしき朱鷺･動物写真展」	1回	1,394人					
				自然写真愛好会･美写者写真展「花鳥風月と富山の水」展	1回	597人					
				のべ利用者数合計		**6,381**人		**3,950**人		**3,011**人	76.2%

宇宙の科学対象事業

事業名		期間	自/共	内容	令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		前年比
プラネタリウムドーム事業	プラネタリウムの投映			**一般投映および学習投映など（投映日数：269日）**	617回	11,874人	679回	14,232人	666回	14,005人	98.4%
				（一般：6,623人　高校･大学生：122人　子供：7,260人　合計：14,005人）	孫	91,800円	孫	155,100円	孫	136,800円	88.2%
				個人：10,536人／団体：3,469人　117団体	観覧料	1,090,280円	観覧料	1,349,610円	観覧料	1,363,320円	101.0%
					計	1,182,080円	計	1,504,710円	計	1,500,120円	99.7%
				◆一般投映		10,845人		13,156人		12,989人	98.7%
		通年	自	子ども番組	198回	4,998人	333回	8,318人	257回	7,927人	95.3%
		通年	自	科学番組	30回	662人	105回	1,216人	108回	1,317人	108.3%
		通年	自	ヒーリング番組	51回	953人					
		通年	自	オリジナル番組	132回	1,455人			44回	395人	—
		通年	自	オリジナル再番組	70回	600人	94回	1,656人	111回	1,203人	72.6%
		通年	自	職員生解説番組	63回	1,413人	67回	1,313人	62回	1,209人	92.1%
		通年	自	立山黒部ジオパーク映画「剱の山」	39回	490人	43回	468人	51回	623人	133.1%
		11/16～17	自	オリジナルプラネタリウムフェスティバル	7回	274人	6回	166人	8回	315人	189.8%
		通年	自	◆学習投映（小学4年生）	22回	661人	22回	696人	20回	673人	96.7%
		通年	自	◆学習投映（中学3年生）	4回	349人	4回	349人	5回	343人	98.3%
		通年	自	◆幼児投映	1回	19人	1回	31人			0.0%
	プラネタリウムの多目的利用	5/19･6/2	自	宮沢賢治が見た星空					2回	58人	—
		11/23	自	熟睡プラ寝たリウム	2回	115人	2回	58人	1回	74人	127.6%
		3/9	自	爆笑！星兄プラネタリウムショーin黒部	2回	263人	2回	241人	2回	243人	100.8%
講座事業体験学習	天文普及事業	第3土曜日	自	星空観察会	12回	304人	12回	297人	13回	327人	110.1%
		8/17	自	初めての天体望遠鏡教室	1回	21人	1回	31人	1回	22人	71.0%
		8/8	共	名水の里くろべこども自然体験村（黒部市）	1回	69人	1回	76人	1回	60人	78.9%
令和4年度／令和5年度				ベビーといっしょにほしぞらさんぽ	1回	86人	2回	68人			
				星空トロッコ	1回	35人	1回	37人			
				星と音楽の夕べ			1回	51人			
				貸切プラン			4回	19人			
				癒しのプラネタリウム	3回	127人	2回	38人			
				のべ利用者数合計		**12,894**人		**15,129**人		**14,789**人	97.8%

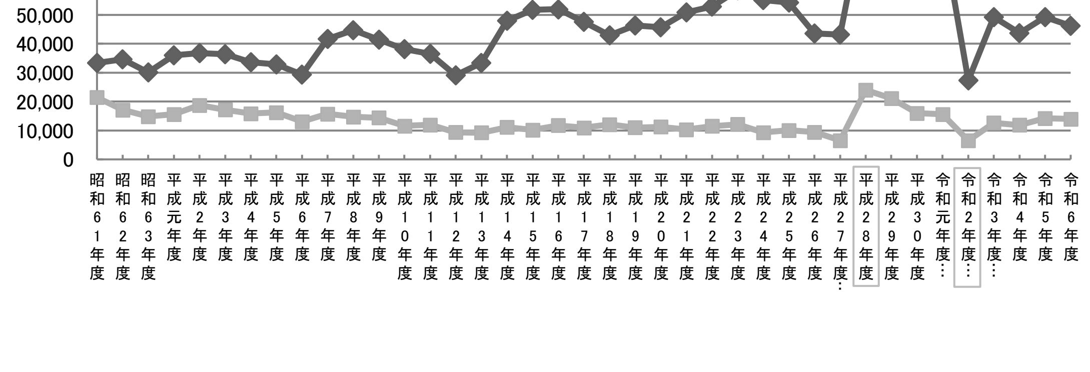
特別行事など

事業名	期間	自/共	内容	令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		前年比
企画展	7/20～9/1	自	ジオパーク巡回展　地球時間の旅					1回	5,385 人	—
特別展	11/16～2/16	自	特別展　さわる宇宙　展					1回	5,524 人	—
特別展連携イベント	12/15	自	惑星地形にさわろう					1回	29 人	—
講演会	7/6	自	七夕ナイトミュージアム					1回	149 人	—
	10/26	共	特別講演会「とある学芸員の南極取材録」					1回	15 人	—
	11/30	自	「さわって知るブラックホール」					2回	50 人	—
工作	9/22～23	共	青少年のための科学の祭典　第31回おもしろ科学実験in富山	1回	57 人	1回	688 人	1回	132 人	19.2%
	10/27	共	立少フェスティバル			1回	150 人	1回	53 人	35.3%
GWイベント	5/3	共	六角パズルをつくろう					1回	19 人	—
	5/3	共	JAFイベント	1回	189 人	1回	435 人	3回	167 人	38.4%
	5/3	共	黒部峡谷鉄道トロッコ電車ワークショップなどの体験					1回	100 人	—
	5/4～5	自	傘袋ロケットをつくろう	1回	66 人			2回	162 人	—
	5/5	共	太陽を観察しよう					1回	76 人	—
	5/6～7	共	割りばしハガキグライダーで遊ぼう	2回	142 人	2回	322 人	1回	103 人	32.0%
お盆イベント	8/11～12	共	オリジナル石けんづくり					2回	194 人	—
	8/13	自	石ころマップをつくろう					1回	48 人	—
	8/14～15	自	惑星キーホルダーづくり					2回	304 人	—
その他イベント	10/14	共	E-Bikeでしんきろう！			1回	5 人	1回	7 人	140.0%
科学館ウィーク	11/16	共	紫外線ストラップをつくろう	1回	58 人			1回	40 人	—
	11/17	共	太陽を観察してみよう！（星座早見盤づくり）					1回	68 人	—
	11/23	共	JAF子ども安全免許証をつくろう！					1回	127 人	—
	11/23	共	この木何の木？木の名札を作ろう！	1回	8 人	1回	18 人	1回	27 人	150.0%
	11/23～24	共	オリジナルバスボムづくり			2回	447 人	2回	742 人	166.0%
	11/16～24	共	スタンプラリー	1回	385 人	1回	388 人	1回	443 人	114.2%
	11/24	自	じゃんけん大会			1回	124 人	1回	135 人	108.9%
令和4年度／令和5年度			特別展「ふしぎな地図展」	2回	7,569 人					
			特別展連携講座「地球の”丸さ”を体感しよう」	1回	9 人					
			平野巡検「地球は丸い、富山湾も丸い」	1回	8 人					
			講演会「黒部のジルコン大活躍」	1回	12 人					
			講演会「ロマンティックプラネタリウム　たなばたのよるに」	1回	38 人					
			おおきな松ぼっくりでクリスマスツリーをつくろう	1回	36 人					
			カブトムシの幼虫プレゼント	1回	150 人					
			「6×6（ろくろく）パズル」	2回	52 人					
			「バードコール」	1回	120 人					
			YKKツーリスト企画　日帰りプラン（購入のみ）	1回	2,474 人					
			おさかな提灯づくり＆黒部の魚塗り絵	1回	83 人					
			オーロラ上映＆トークライブ	2回	238 人					
			月面のクレーターで遊ぼう	3回	31 人					
			まつぼっくりでミニクリスマスツリーづくり	1回	132 人					
			オリジナル温度計づくり	1回	75 人					
			ペットボトルキャップケーキづくり	2回	384 人					
			ビンゴ大会	2回	259 人					
			雪遊びを楽しもう！（前沢公民館）	1回	28 人					
			企画展「すごい火山展」			2回	9,698 人			
			企画展連携講座「わくわく！キッチン火山実験」			1回	32 人			
			全国科学館連携協議会巡回展示「かるたでよみとくわたしと世界のつながり」			1回	5,125 人			
			講演会「たなばたのよるに」星空の彼方への憧れ			1回	80 人			
			講演会「富山の火山研究の最前線」			1回	39 人			
			カップゴマをつくろう			2回	277 人			
			竹の知恵の輪をつくろう			1回	84 人			
			星座早見盤をつくろう	1回	59 人	1回	69 人			
			ミニプラネタリウムをつくろう			1回	90 人			
			プラ板ストラップづくり			2回	217 人			
			くろべフェア　ジオサイエンスショー「火山のふしぎ」	2回	15 人	1回	20 人			
			くろべフェア　展示ブース	2回	214 人	1回	171 人			
			特別講演会「プラネタリウムは宇宙への窓」			1回	30 人			
			プラネタリウム操作してみる？	1回	23 人	2回	39 人			
			特別講演会「関東大地震から100年巨大地震列島の今を知る」			1回	17 人			
			ウェルカムプレートづくり	3回	492 人	2回	447 人			
			平野の巡検「上市町稲村の海底地すべり堆積物」			1回	7 人			
			黒部川・水のコンサート＆フェスティバル			1回	100 人			
			星空プログラミングin黒部			2回	10 人			
			のべ利用者数合計		13,406 人		19,129 人		14,099 人	73.7%

年度別のべ利用者数・観覧料

令和7年3月31日現在

年度	のべ利用者数		プラネタリウム観覧者数		観覧料	
昭和61年度	33,373	人	21,449	人	2,534,760	円
昭和62年度	34,682	人	17,110	人	1,912,660	円
昭和63年度	30,121	人	14,853	人	1,735,050	円
平成元年度	36,053	人	15,582	人	1,736,390	円
平成2年度	36,783	人	18,768	人	1,815,630	円
平成3年度	36,359	人	17,200	人	1,889,240	円
平成4年度	33,644	人	15,868	人	1,777,740	円
平成5年度	32,871	人	16,262	人	1,969,790	円
平成6年度	29,366	人	13,106	人	1,643,780	円
平成7年度	41,719	人	15,700	人	2,828,590	円
平成8年度	44,777	人	14,695	人	2,619,250	円
平成9年度	41,504	人	14,426	人	2,461,120	円
平成10年度	38,144	人	11,554	人	2,008,150	円
平成11年度	36,511	人	11,949	人	1,840,800	円
平成12年度	29,068	人	9,365	人	1,494,100	円
平成13年度	33,355	人	9,264	人	1,380,130	円
平成14年度	47,963	人	11,131	人	1,243,230	円
平成15年度	51,829	人	10,188	人	1,131,060	円
平成16年度	51,968	人	11,780	人	1,308,510	円
平成17年度	47,581	人	10,989	人	1,184,940	円
平成18年度	42,987	人	12,055	人	1,278,840	円
平成19年度	46,363	人	11,021	人	1,161,270	円
平成20年度	45,745	人	11,252	人	1,156,490	円
平成21年度	50,913	人	10,297	人	1,099,110	円
平成22年度	52,937	人	11,515	人	1,275,300	円
平成23年度	58,520	人	12,171	人	1,448,160	円
平成24年度	55,131	人	9,287	人	1,015,470	円
平成25年度	54,252	人	10,081	人	1,075,710	円
平成26年度	43,574	人	9,414	人	1,129,050	円
平成27年度（12月～3月ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ休止）	43,184	人	6,547	人	695,280	円
平成28年度	88,083	人	23,997	人	1,984,410	円
平成29年度	75,630	人	21,182	人	2,178,210	円
平成30年度	62,027	人	16,005	人	1,783,260	円
令和元年度（2/29～3/31ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ休止）	78,662	人	15,626	人	1,556,010	円
令和2年度（4/1～5/20ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ休止）	27,363	人	6,508	人	613,270	円
令和3年度（8/18～9/13・1/24～2/28ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ休止）	49,257	人	12,667	人	1,306,770	円
令和4年度	43,726	人	11,874	人	1,182,080	円
令和5年度	49,224	人	14,232	人	1,504,710	円
令和6年度	46,234	人	14,005	人	1,500,120	円
合　計	1,781,483	人	520,975	人	61,458,440	円
令和5年度	**49,224**	**人**	**14,232**	**人**	**1,504,710**	**円**
令和6年度	**46,234**	**人**	**14,005**	**人**	**1,500,120**	**円**
前年度比	**93.9**	**%**	**98.4**	**%**	**99.7**	**%**



事　業　名	内　容	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	前年比
その他	各部屋の利用等	3,657 人	3,039 人	6,824 人	224.5%
	のべ利用者数合計	**3,657** 人	**3,039** 人	**6,824** 人	**224.5%**

(参考)　　オンライン事業　視聴回数報告

実施年度	内　容	視聴回数	合計
令和6年度	7/6　七夕講演会ライブ中継	135 回	285 回
	オーロラ映像公開	150 回	
令和5年度	7/8　七夕講演会ライブ中継	181 回	181 回
令和4年度	11/6　皆既月食ライブ中継	1,527 回	1,941 回
	7/7　七夕講演会ライブ中継	414 回	
令和3年度	天文教室ライブ中継(2回)	2,350 回	2,350 回
	サイエンスショー紹介動画(9本)	回	
令和2年度	剣の山無償公開	13,230 回	14,821 回
	オリジナルプラネタリウム番組無償公開	178 回	
	科学館紹介動画公開(3本)	373 回	
	サイエンスショー紹介動画(4本)	1,040 回	
	のべ利用者数合計	**19,112** 回	**19,112** 回

各年度利用者数比較

	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	前年比
日常の科学対象事業	7,481 人	6,953 人	7,302 人	7,977 人	7,511 人	94.2%
地域の科学対象事業	3,378 人	7,054 人	6,366 人	3,950 人	3,011 人	76.2%
宇宙の科学対象事業	7,006 人	13,103 人	12,894 人	15,129 人	14,789 人	97.8%
特別事業	7,392 人	19,864 人	13,507 人	19,129 人	14,099 人	73.7%
その他事業	2,106 人	2,283 人	3,657 人	3,039 人	6,824 人	224.5%
のべ利用者数計	27,363 人	49,257 人	43,726 人	49,224 人	46,234 人	93.9%
カウンター数 (来館者数)	**11,443** 人	**17,833** 人	**19,230** 人	**22,865** 人	**22,347** 人	**97.7%**

▼行政官庁許認可報告事項

許認可報告年月日	許認可報告先	許認可報告事項
令和6年6月29日	富山県知事	令和5年度事業報告及び収支決算届
令和6年8月10日	富山県知事	理事の変更届
令和7年3月26日	富山県知事	令和7年度事業計画及び収支予算届

▼評議員会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和6年6月28日	1　令和5年度事業報告及び収支決算について 2　理事の任期満了に伴う選任について 3　監事の任期満了に伴う選任について	評議員3名のうち２名出席 議案について全員一致で承認

▼理事会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和6年6月4日	1　令和5年度事業報告及び収支決算について 2　令和6年第1回評議員会の開催について	役員(理事10名、監事2名)の内、 理事9名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認
令和6年7月11日	1　代表理事の選定について 2　副理事長の選定について	役員(理事9名、監事2名)の内、 理事7名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認
令和7年3月25日	1　令和7年度事業計画及び収支予算について	役員(理事9名、監事2名)の内、 理事7名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認